

野菜の需給・価格動向レポート(平成２３年１１月２１日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		10月の価格動向		11月の価格動向		生育及び価格の１１月の見通し			
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格		指定野菜の関東・ 近畿ブロック旬別 平均販売価額		
			中旬	下旬				上旬	
葉 茎 菜	キャベツ	74.19	82	66	66.3	68	・入荷見込量：12,398t (109) ・主産地：千葉(40)、愛知(25)、茨城(14)、東京(4)	・千葉産、愛知産ともに、好天の影響で生育が進み潤沢な出荷となっており、今後も順調な出荷の見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。	
		93.59	89	71	69.92	71	・入荷見込量：3,400t (111) ・主産地：愛知(49)、茨城(19)、熊本(6)		
	ねぎ (関東：白ねぎ 関西：青ねぎ)	218.22	201	169	218.22	166	・入荷見込数量：5,520t (102) ・主産地：新潟(16)、青森(15)、秋田(11)、埼玉(9)、千葉(8)、茨城(8)、輸入(6)、群馬(5)	・新潟産は、順調な生育で現在出荷のピークを迎えており、今後も順調な出荷の見込み。青森産も、順調な出荷で少なかった前年を上回る出荷となっている。秋田産も、順調な出荷となっている。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、現在低迷している価格がしばらく続く見込み。 (※トピック参照)	
		444.77	293	246	444.77	246	・入荷見込数量：200t (105) ・主産地：徳島(21)、大阪(20)、高知(17)、香川(15)、奈良(12)、三重(6)		
	はくさい	54.1	107	49	36.65	43	・入荷見込量：13,555t (101) ・主産地：茨城(84)	・茨城産は、好天の影響で生育もよく前年を上回る出荷となっており、下旬にはピークを迎える見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。	
		69.44	107	49	53.29	51	・入荷見込量：5,400t (105) ・主産地：茨城(39)、熊本(20)、長野(13)、福岡(7)、大分(7)		
	ほうれんそう	350.1	531	408	350.1	338	・入荷見込量：1,665t (101) ・主産地：群馬(44)、茨城(14)、千葉(14)、埼玉(12)	・群馬産は、9月の台風の影響で播種が遅れたものの出荷の時期となっていること、また、好天の影響で次作のものが前進化して出荷を迎えていることから、潤沢な出荷となっている。茨城産は、生育が順調で前年を上回る出荷となっている。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は月末まで平年を下回って推移する見込み。	
		419.76	625	494	419.76	399	・入荷見込量：600t (97) ・主産地：岐阜(32)、徳島(31)、福岡(22)		
	レタス	136.79	158	105	136.79	124	・入荷見込量：6,624t (101) ・主産地：茨城(65)、兵庫(11)、香川(5)	・茨城産は、好天により玉の肥大が進み、前年を上回る出荷となっている。今後は出荷の終盤を迎え減少するが、12月中旬までは出荷が続く見込み。兵庫産も順調で、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。	
		147.25	159	118	147.25	148	・入荷見込量：1,450t (114) ・主産地：兵庫(55)、茨城(22)、徳島(12)、香川(7)		
	たまねぎ	76.15	99	94	76.15	90	・入荷見込量：10,298t (102) ・主産地：北海道(83)、輸入(15)	・北海道産は、遅れていた収穫作業が終了。全体の出荷量は前年よりは多いが、平年には届かない見込み。 ・平年より少なめの出荷量が見込まれることから、価格は平年より高めに推移する見込み。	
		76.15	105	95	76.15	88	・入荷見込量：3,700t (111) ・主産地：北海道(56)、兵庫(38)		
果 菜	きゅうり	262.75	255	273	262.75	327	・入荷見込量：4,717t (100) ・主産地：埼玉(35)、群馬(17)、宮崎(17)、千葉(9)、茨城(8)、高知(7)	・埼玉産は、生育が回復し順調な出荷となっている。群馬産は、出荷の終盤となり前年より少なめの出荷となっている。宮崎産は、本格的な出荷が平年よりやや遅れている。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格はやや高めに推移する見込み。	
		284.72	270	270	284.72	323	・入荷見込量：1,000t (99) ・主産地：宮崎(55)、高知(14)、大阪(6)、北海道(6)		
	トマト	315.83	580	351	315.83	457	・入荷見込量：4,834t (104) ・主産地：熊本(34)、千葉(20)、愛知(15)、茨城(12)、静岡(5)	・熊本産は、小玉傾向ではあるが平年並みの出荷となる見込み。千葉産は、冷え込みの影響で一時的に出荷が減少しているが、今後は平年並みの出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、今後、価格は平年並みに推移する見込み。	
		337.88	630	372	337.88	460	・入荷見込量：800t (109) ・主産地：熊本(42)、愛知(13)、徳島(9)、石川(7)、福岡(7)		
	なす	316.84	295	238	316.84	273	・入荷見込量：2,349t (98) ・主産地：高知(59)、福岡(15)、栃木(5)、群馬(4)	・高知産は、最近の冷え込みの影響で一時的に出荷が減少しているが、今後は生育が回復し、平年並みの出荷となる見込み。福岡産は、作柄が良好で平年並みの出荷の見込み。 ・平年並みの出荷が見込まれることから、今後、価格は平年並みに推移する見込み。	
		277.06	295	208	277.06	224	・入荷見込量：450t (106) ・主産地：高知(37)、福岡(16)、熊本(16)、岡山(14)、群馬(6)		
	ピーマン	263.58	394	240	344.39	236	・入荷見込量：1,687t (102) ・主産地：茨城(58)、宮崎(15)、高知(13)	・茨城産は、多めの出荷となっていたが、今後はピークを過ぎやや減少傾向となる見込み。宮崎産は、曇雨天の影響で着果が悪く、平年を下回る出荷となる見込み。 ・やや少なめの出荷量が見込まれることから、平年を下回っている価格は平年並みに近づく見込み。	
		282.16	434	313	353.61	263	・入荷見込量：300t (99) ・主産地：宮崎(53)、高知(22)、鹿児島(11)		
	根 菜	だいこん	64.33	89	66	64.33	67	・入荷見込量：12,227t (103) ・主産地：千葉(61)、神奈川(13)	・千葉産は、順調な生育で平年並みの出荷の見込み。神奈川産も、本格的な出荷の開始となり、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
			76.48	105	88	76.48	88	・入荷見込量：3,500t (99) ・主産地：長崎(17)、和歌山(13)、徳島(12)、鹿児島(10)、石川(8)、千葉(7)	
にんじん		129.56	149	109	100.82	102	・入荷見込量：7,092t (101) ・主産地：千葉(43)、北海道(31)、輸入(4)	・千葉産は、順調な生育で、少なかった前年を上回る出荷となっている。北海道産は、出荷の終盤を迎え減少傾向。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		129.59	153	115	104.49	106	・入荷見込量：2,500t (96) ・主産地：長崎(41)、北海道(40)、鳥取(8)		

種類		10月の価格動向			11月の価格動向		生育及び価格の１１月の見通し
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・ 近畿ブロック旬別 平均販売価額	
			中旬	下旬			
い も	さといも	200. 88	238	217	200. 88	195	・ 埼玉産は、やや小玉傾向であるが少なかった前年より多く、平年並みの出荷となっている。千葉産も、平年並みの出荷となる見込み。 ・ 順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
		207. 2	250	243	207. 2	258	
	ばれいしょ	88. 17	121	118	88. 17	113	・ 北海道産は、収穫作業が終了。少なかった前年よりは多いが、平年には届かない見込み。今後は、貯蔵腐敗が懸念される。 ・ 平年より少なめの出荷量が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		88. 17	110	102	88. 17	101	

1) 平均価格は、過去9年間又は6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
2) 旬別平均販売価額の背景なしは、保証基準額を上回るもの。背景ありは、下回るもの(消費税は除く。)
3) 単位は円／kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。

4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもの近畿は前年実績。
5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

2 野菜の需要動向

家計調査でみると、9月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,598gで前年比100%、購入金額は、1,803円で同99%となり、購入量、購入金額ともにほぼ前年並みとなった。

また、小売物価統計によると、10月のキャベツの小売価格は、205円で過去5か年平均比130%、レタスは、525円で同111%となり、キャベツ、レタスともに過去5か年平均を大きく上回った。

生鮮野菜の購入量及び金額

(1人当たりの購入量、金額)

年 月	過去5か年平均		平成22年		平成23年			
	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比
1月	4,189	1,529	4,240	1,551	4,310	102	1,573	101
2月	4,391	1,544	4,461	1,574	4,267	96	1,629	103
3月	4,767	1,695	4,970	1,768	4,867	98	1,788	101
4月	4,732	1,808	4,518	1,884	4,796	106	1,789	95
5月	5,094	1,902	4,925	1,965	5,171	105	1,820	93
6月	5,033	1,880	5,026	1,907	4,904	98	1,857	97
7月	4,438	1,683	4,264	1,697	4,362	102	1,759	104
8月	4,272	1,732	4,241	1,733	4,392	104	1,717	99
9月	4,868	1,806	4,606	1,818	4,598	100	1,803	99
10月	5,314	1,849	4,994	1,959		0		0
11月	4,997	1,614	4,678	1,774		0		0
12月	5,212	1,817	5,177	1,887		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移

(単位：円/kg)

	キャベツ			レタス		
	過去5か 年平均	平成23年	5か年比 (%)	過去5か 年平均	平成23年	5か年比 (%)
1月	189	186	98	618	502	81
2月	173	228	132	496	635	128
3月	181	206	114	455	435	96
4月	250	195	78	464	348	75
5月	185	127	69	399	277	69
6月	159	106	67	360	306	85
7月	154	174	113	320	306	96
8月	170	123	72	493	351	71
9月	159	148	93	483	800	165
10月	158	205	130	474	525	111
11月	155		0	359		0
12月	146		0	442		0

1) 過去5か年は平成18～22年の平均

2) 10月の値は、10月中旬の速報値

資料：総務省統計局「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

平成23年10月の輸入量を植物防疫統計で見ると、たまねぎは前年比133%（中国は同117%、米国は同178%）の4万3千トン、にんじんは同107%（中国は同116%、オーストラリアは同9%）の8千トン、ねぎは同101%（中国は同101%）の5千トンとなり、たまねぎは前年を大幅に上回り、にんじんは前年をかなり上回った。

野菜の輸入数量の推移

(単位：トン、%)

区分	平成21年		平成22年		平成23年1～9月		平成23年9月
		前年比		前年比		前年同期比	前年同月比
生鮮野菜	615,271	102	820,687	133	681,685	119	94
加工野菜	1,569,627	95	1,677,840	107	1,332,823	107	107
野菜輸入量合計	2,184,898	97	2,498,527	114	2,014,509	111	103
うち中国産野菜合計	1,098,415	95	1,284,449	117	1,023,783	112	100
中国産シェア	50		51		51		

資料：ペジ探（原資料）財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

(単位：トン、%)

品目	輸入先	(A) 2010.10	(B) 2011.10	(B)/(A)
たまねぎ	合計	32,423	43,059	133
	中国	23,934	27,886	117
	米国	8,488	15,150	178
にんじん	合計	7,234	7,760	107
	中国	6,588	7,669	116
	オーストラリア	612	57	9
ねぎ	合計	5,027	5,071	101
	中国	5,016	5,068	101

資料：農林水産省「植物防疫統計」。 (2011.10) は、速報値である。

4 トピック ―ねぎの入荷量が増加し価格が低迷―

ねぎは、10月中旬より入荷量が増加し、価格が低迷している。
これは、
①9月の台風の影響で主産地の青森産、秋田産の出荷が後ろにずれ込んだこと、
②今年は国産の出回りが多いにもかかわらず、昨年の不作により増加した輸入が引き続き高水準で推移していること、
③平年より高めの気温が続いていることから、鍋需要が低迷していること
等が要因になっているものと思われる。
今後は、東北産や新潟産の出荷が11月いっぱい続くことと、後続産地である埼玉産の出荷も順調であると見込まれることから、潤沢な供給が見込まれる。
一方、需要は、寒さが長続きせず平年より高めの気温が続くと見込まれることから、弱含みで推移し、価格の低迷はしばらく続く見込まれる。

ねぎの産地別入荷量と卸売価格の推移（東京都中央卸売市場）

平成22年

This stacked area chart displays the volume of onion arrivals in tons (t) by region (Aomori, Akita, Yamagata, Saitama, and Others) and the wholesale price in yen per kilogram (¥/kg) for Heisei 22. The left y-axis represents volume (0-2500 t), and the right y-axis represents price (0-500 ¥/kg). The x-axis shows time intervals from early September to early November. Aomori (pink) is the primary source, followed by Akita (blue) and Others (light blue). The price (black line) peaks in late September and then declines.

時期	青森 (t)	秋田 (t)	山形 (t)	埼玉 (t)	その他 (t)	卸売価格 (¥/kg)
9月上旬	500	100	100	0	800	300
9月中旬	450	100	100	0	750	350
9月下旬	600	100	100	0	800	450
10月上旬	550	100	100	0	850	400
10月中旬	500	100	100	0	800	300
10月下旬	450	100	100	0	850	320
11月上旬	350	100	100	50	900	400

平成23年

This stacked area chart displays the volume of onion arrivals in tons (t) by region (Aomori, Akita, Yamagata, Saitama, and Others) and the wholesale price in yen per kilogram (¥/kg) for Heisei 23. The left y-axis represents volume (0-2500 t), and the right y-axis represents price (0-500 ¥/kg). The x-axis shows time intervals from early September to early November. Aomori (pink) is the primary source, followed by Akita (blue) and Others (light blue). The price (black line) peaks in late September and then declines.

時期	青森 (t)	秋田 (t)	山形 (t)	埼玉 (t)	その他 (t)	卸売価格 (¥/kg)
9月上旬	500	100	100	0	800	250
9月中旬	450	100	100	0	750	300
9月下旬	600	100	100	0	800	400
10月上旬	550	100	100	0	850	350
10月中旬	500	100	100	0	900	250
10月下旬	450	100	100	0	950	200
11月上旬	350	100	100	50	900	200

資料：青果物情報センター

ねぎの月別輸入数量の推移

ねぎの輸入数量(平成21年～23年)

This bar chart shows the monthly import volume of onions in tons (t) for Heisei 21 (blue), Heisei 22 (red), and Heisei 23 (green). The y-axis represents volume (0-7000 t), and the x-axis represents months from January to December. Imports peaked in March of Heisei 23 at nearly 6,000 tons.

月	21年 (t)	22年 (t)	23年 (t)
1月	2500	3500	3800
2月	2200	3200	4300
3月	1800	4300	5800
4月	2600	4000	3800
5月	2200	3600	3600
6月	3200	4100	4700
7月	3400	4100	4500
8月	2700	4000	5200
9月	3200	4300	4200
10月	2800	5000	5100
11月	2800	4700	0
12月	2900	5400	0

資料：ペジ探（原資料）農林水産省「植物防疫統計」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は2日公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はペジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>
★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ペジヤス」 http://www.alic.go.jp/y-suishin/vaiukyu01_000076.html